

白山市立蝶屋小学校



学校だより

令和6年9月30日  
前期学校評価号

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、7月に実施いたしましたアンケート結果についてご報告いたします。ほぼ同じ時期に実施しました児童アンケートの結果や学校職員による評価と併せて、アンケートの結果をご報告いたします。この結果を、今後、子どもたちの育成に生かしていきたいと思ひます。アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

※回答は、「A：あてはまる」「B：ややあてはまる」「C：ややあてはまらない」「D：あてはまらない」から選択。  
左表中の数値は、そのうちの「A」の割合（上段）と「A+B」の割合（下段）を示しています。（％）

1. 令和6年度 前期 学校評価結果とその分析と今後の取組

	重点項目	児童アンケート	A 値 AB値 (%)	保護者アンケート	A 値 AB値 (%)	教職員アンケート	A 値 AB値 (%)	分 析 と 今 後 の 取 組
共通	学校生活	学校は楽しい	67.3 96.7	お子さんは、「学校は楽しい」と思っている	62.2 96.4	子どもたちは、学校で楽しく過ごしている	59.1 100	児童、保護者、教職員、三者全ての肯定的評価が高かったものの、肯定的ではなかった児童が3.3%いました。これらの児童には個別アプローチが必要であり、担任が把握し、すべての児童が学ぶ楽しさを実感できる授業を行っています。また、学習活動や行事等の集団的な活動や体験的な活動を通して、自主的な能力や態度の育成も図っていききたいと思ひます。
	自己肯定感	自分には、よいところがある	46.7 87.9	お子さんのよいところを、お子さんに伝えている	51.0 94.8	子どもたちの自己肯定感が向上するよう、努力や過程を認める声かけや児童同士の関わりを大切にした教育活動を行っている	68.2 100	児童、保護者、教職員の3者で差が見られました。保護者、教職員の評価に比べ、児童の評価がやや低いことが分かります。学校全体で児童同士が認め合う場を設けることで、お互いのよさや可能性を発揮できるようにしたいと思ひます。さらに、教師からの励ましや勇気づけの声かけを行うことで自己肯定感の向上を図っていきます。また、肯定的でない児童を担当が把握し、細かな個別支援を行っています。
確学 力 な の 育 成	わかる授業	授業は、わかりやすい	58.5 94.1	お子さんは、「勉強は分かりやすい」思っている	33.9 84.1	ねらいを（育みたい資質、能力）を明確にした授業を行っている	35.0 100	児童の肯定的評価が87%と高い一方で、授業に対して理解できていない児童がいることもわかりました。各教科でつきたい力を明確にし、教師と児童が共有しながら学びを深めていけるようにしていきます。また、適用問題を適宜とりいれるなど、児童が「わかった」「できた」を感じられるような授業を今後も行っていききたいと思ひます。
	学び合い (説明する力)	相手の話を分かってあげようと聞いたり、相手に分かってもらおうとして話したりする	62.1 93.4			相手の話を分かろうとして聞く、相手に分かってもらおうとして話す、など相手意識をもって聞く、話すの指導をしている	59.1 100	学び合いについて、児童・教職員ともに評価は高い傾向にあることから、学び合いを意識して授業に臨んでいることがわかりました。児童同士関わりのある授業を大切にしながら授業を進める「蝶屋モデル」をベースに、引き続き相手意識をもって学びを進めていきます。その際に、「何のために学び合うのか」目的意識を持たせていきます。また、学び合いの良さをさらに実感できるように価値づけていきます。
	自己決定					児童が主体的に学ぶために、学び方を指導し自己決定の場を設定している	50.0 100	教職員のA評価が50%であり、学び方を指導し自己決定の場を設定しながら授業を進められるようになってきていることが分かります。今後も、効果的な自己決定のあり方を校内研究会で話し合い、教職員同士還元し合うなどして、意識を高めていききたいと思ひます。
	家庭学習	家庭学習は（1年：20分 2～6年：学年×10分）の時間、取り組めていますか	55.5 89.3	お子さんに家庭学習の時間（学年×10分）をとっている	32.3 74.1	児童が家で学年のめあての学習時間（学年×10分）の勉強に取り組めるように指導している。	66.7 100	家庭学習に関して、保護者の肯定的評価が70%程度と低い傾向でした。児童は家庭学習を行っていると評価している一方で、保護者の実感が伴っていないことがわかりました。2学期の家庭学習の取組は、タブレットでも行っていこうと思ひます。タブレットは自己チェックやふりかえりがしやすいので、児童の意欲につながります。
豊 か な 心 の 育 成	いじめなし	いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	63.6 87.1	お子さんは、いじめられたり、無視されたりすることなく、安心して過ごしている	67.7 94.0	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごせるよう指導している	63.6 100	9割の児童が学校生活を安心して過ごしていて、約1割の児童は不安な気持ちをもって学校生活を過ごしていることがわかりました。全校でいじめの共通理解を図り、今後も丁寧かつ、継続した対応・指導を行っていききたいと思ひます。また、アンケートで浮かび上がってこない児童に対しては、普段の様子や他の児童との関わりをよく観察し、見過ごすことのないように対応していきます。教師がいじめに対する意識を高め、少しの変化を見逃さずに声をかけ合っていきます。
	思いやり	友達に対して、やさしく話したり、行動したりしている	65.1 97.1	お子さんは、友達に対して思いやりの心を持って行動している	55.4 97.2	相手意識をもった思いやりのある言動ができるように指導している	70.0 95.0	肯定的な評価は児童全体の97%と高い数値となっていますが、A評価と判断している児童は65%と高い数値とは言えません。また、保護者のA評価も高いとは言えません。学級指導や道徳授業等を通して、正しい言葉遣いを身につけることができるよう継続して指導をしていきます。今後も、授業や学校行事の中で思いやりのある児童の姿が見られた時には、その都度価値づけを行い、広めていききたいと思ひます。
	あいさつ	友だちや先生、見守り隊や地域の方に気持ちのよいあいさつをしている	81.3 98.5	お子さんは、日常的に「おはよう」「おやすみ」「いってきます」「ただいま」などのあいさつをしている	68.5 95.6	自ら率先垂範であいさつし、友達、先生、来校者、見守り隊、地域の方に、気持ちのよい挨拶ができるように、指導している	66.7 100	A評価としている児童が80%を超え、気持ちのよいあいさつが定着してきていると思われます。1学期後半の「あいさつ風船」の取り組みが良い影響を与えていると考えられます。今後も、あいさつの習慣化やあいさつの質向上に向けて児童主体の取り組みを行い、良い姿を価値づけ広めていききたいと思ひます。
健 体 の 育 成	体力向上	体育の時間はめあてをもって、楽しくがんばれている	80.9 98.9			体育の時間等に、めあてを持ってねばり強く取り組めるように工夫している	75.0 100	多くの児童がめあてを持ち、体を動かすことを楽しんでいる様子が見られます。しかし、体育に対して苦手意識がある児童もいます。どの児童でも楽しめるようなめあてや目標を設定し、活動を工夫していきます。また、体力向上のために、縄跳び週間や体力アップの取り組みも行っていきます。
	生活習慣 (食への感謝)	感謝して給食を残さず食べるようにしている	77.9 96.7	お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して生活している	49.4 85.3	感謝して給食を残さず食べるよう指導している	76.5 100	自分が食べられる量を考え、給食を残さずに感謝して食べている児童が多いいます。クラスでも残食をしない声かけを行ったり、委員会でもよく噛んで食べることを意識できる取り組みを行ったりしています。今後も、栄養士や調理員と協力し、給食ができる過程や地元の食材を使ったメニューを放送や掲示で伝え、感謝の気持ちをもてるようにしていきたいと思ひます。
	自己有用感	「自分たちの学校は自分たちでよくする」という思いを持ち、係や委員会などの役割を果たしている	68.4 96.0	お子さんと話す時間をとっている	52.6 96.0	「自分たちの学校は自分たちでよくする」意識を持たせ、自分の役割を果たせるよう指導している（係・実行委員・委員会など）	47.4 100	クラスの係活動や委員会活動、クラブ活動で自分の役割を果たそうと頑張っている児童の姿が多く見られます。どの活動においても、目指す姿を児童と教師が共通理解を図り、その姿を目指そうと頑張る児童を積極的に価値づけ広めていくことで、さらなる意欲につなげていききたいと思ひます。
携 帯 ・ 地 域 と の 連 携	情報発信			学校は、児童の活動の様子を日常的な連絡や便り等で伝えている	56.2 94.4	学校活動や児童の様子を、日常的な連絡や便り等で伝えている	35.0 100	今年度より、各種おたよりをテトル配信することにしました。保護者の方へ直接おたよりを届けることができ便利になりましたが、配信が多くなりすぎると大事な情報を見落としてしまう保護者の方がいるのではないかと危惧しております。今後はテトルでの発信をなるべく重要なものに限定して行うように努めていききたいと思ひます。また、ホームページも定期的に更新し、各学年の様子を知らせていききたいと考えております。保護者の方と連携し、しっかり情報共有しながら教育活動を進めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2. 学校運営協議会での主なご意見

- ・ あいさつがとてよくなりましたね。朝、児童の様子を見ていると、ほとんどの子が自分からあいさつしてくれます。学校での取り組みが効果的だったようで、地域の方にもあいさつするという意識が高まり、見守り隊以外の方にもあいさつしています。大人も一緒に地域に出て進んであいさつするともっとあいさつがよくなりますね。
- ・ 通学路の安全についてですが、夏休み中に学校の北門にある横断歩道に警告灯が設置されました。ライトが点滅して児童の横断を知らせてくれるものですが、今までより安全に渡ることができるようになりました。ただ、送迎の車が停車し、危険な場面を目にします。ぜひ、マナーを守ってほしいです。
- ・ 授業を見ていると、子どもたちが話している場面が増えましたね。楽しいのが一番なので、楽しい中でわかる授業をしていってもらいたいです。図書館での授業はとても楽しそうでした。
- ・ 「自分たちにはよいところがある」と子どもが答えるには、親が子どもにプラスの声かけをしていくことが大切なのではないですか。親にほめられると子どもはうれしいものです。親もほめ慣れていくといいですね。
- ・ 帽子のゴムひもが伸びている子が目につきます。帽子を正しくかぶることは、交通安全と熱中症予防にもなりますので、ぜひ付け替えてもらいたいです。

\*\*\*\*\*  
学校運営協議会のみなさん  
ありがとうございます！  
\*\*\*\*\*  
運営協議会 会 長 梨木 精一 様  
運営協議会 副会長 吉川 優子 様  
運営協議会 委 員 今村 恵子 様  
運営協議会 委 員 山本 洋平 様  
運営協議会 委 員 盛本 喜治 様  
運営協議会 委 員 喜多 佳代 様  
運営協議会 委 員 木村 牧子 様

